

福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和8年4・5・6月分
月間賞 受賞一覧





《改善》 個別相談会の実施で、事務時間を短縮しながら
農業者一人一人に寄り添ったサポートを実現！

〈取組内容〉

複数回にわたる電話確認や書類の修正のやり取りを見直し、県の専門職員と連携した個別相談会を実施することで、その場で計画書を作成する仕組みへと変更した。

〈効果〉

- ・ 農業者へのきめ細かな支援が可能となった。
- ・ 事務時間の削減となった。

《改善》 誤封入ゼロを継続するための封入基本ルール整備

〈取組内容〉

封筒の種類や封入書類に応じた確認手順の標準化を図った。

情報漏洩に直結するリスクを「いつ・誰が・どう確認すべきか」のルール化によって排除した。

〈効果〉

- ・ リスクを可視化することで事務ミス防止となった。
- ・ 業務フローを職場内で共有することにより、業務の安定化となった。

《改善》 感染症患者のAccessを活用した管理の一元化

〈取組内容〉

感染症患者の個別Excel管理による煩雑さを解消するため、Accessを活用したシステムを内製化した。通知文作成や協議会資料の効率化・ペーパーレス化を図った。

〈効果〉

- ・ データの一元管理によって、通知・記録業務が効率化された。
- ・ 年間約240時間の作業時間の削減となった。

《改善》 職員録冊子版の廃止

〈取組内容〉

職員録冊子版の作成において、各所属との煩雑な校正・修正の繰り返しによる大きな事務負担が課題だった。職員録冊子版の作成を廃止し、市民情報室での職員録販売を終了した。

〈効果〉

- ・ 作成に係る事務負担及び印刷経費の削減となった。
- ・ 職員情報を外部へ非公開とすることで、職員に対するカスタマーハラスメントや職員の名を語る詐欺被害の未然防止となった。

《改善》 原則公印押印不用の範囲拡大

〈取組内容〉

原則としてすべての文書に公印押印を必要としていた規則を改正し、今後は規程に定める文書のみが公印押印を必要とした。

〈効果〉

- ・ 全庁的に公印押印事務の負担軽減となった。
- ・ 通知文書の電子化の推進へとつながった。